

Revit Starter Kit とは

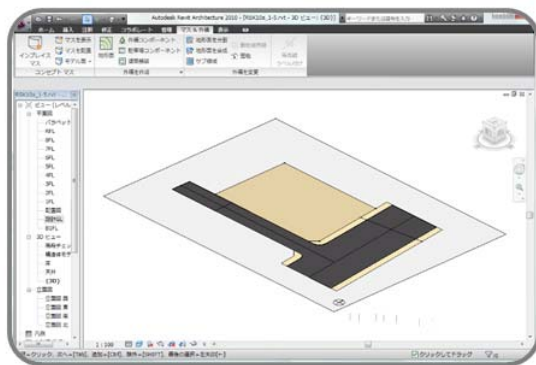
Revit Starter Kit 2010 は、Revit を初めて操作する方から、Revit で設計業務を始めたいと、お考えの方を対象としています。

企画設計業務（ボリューム検討）の手順に合わせて、操作方法を解説しているものです。解説ムービー、マニュアル、サンプルデータを参考にして、Revit Architecture 2010 を好きなところから短時間で学習できます。

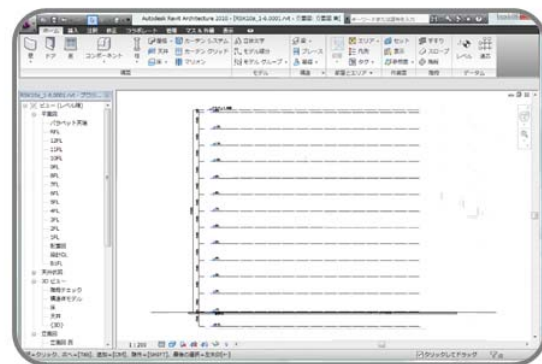
第 1 章計画条件の整理

1-0 第 1 章の目的

第 1 章では、RSK テンプレートに敷地データ（DXF）を読み込み、敷地境界線や道路などの計画条件を整理します。ボリューム検討の準備として、想定する建物用途に合わせてレベル（階数）と階高の設定を行います。またボリュームスタディをするための準備として、レベルと階高の設定を行いましょ。



敷地形状の作成

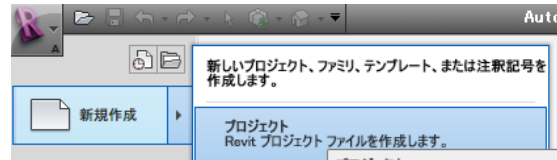


レベルと階高の設定

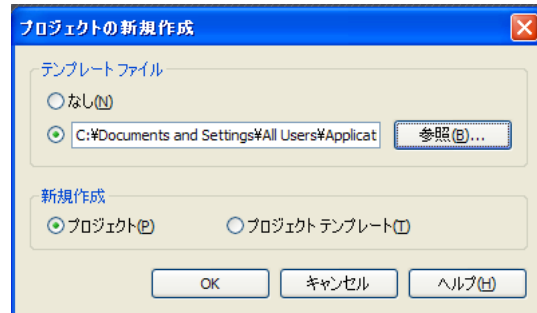
TIPS & HINTS

1-1. RSK テンプレートから新規図面を作成する

① 《アプリケーションメニュー》 [新規作成] から [プロジェクト] を選択します。



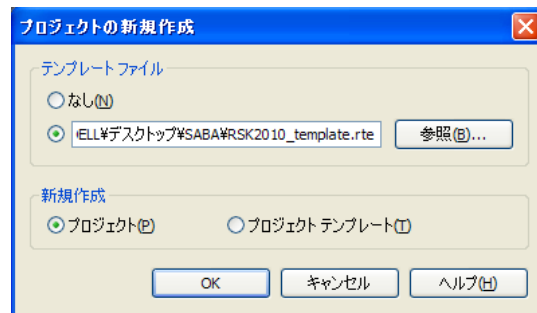
② [参照] を選択します。



③ [RSK2010_template.rte] を選択し、[開く] をクリックします。

[OK] をクリックします。

新しいプロジェクトが作成されます。



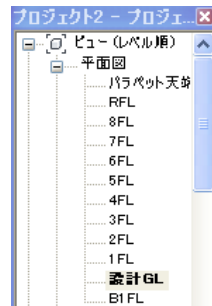
TIPS & HINTS

- ★ 最近使用したファイルウィンドウの [新規作成] をクリックすると、テンプレートの選択はできません。(既定のテンプレート DefaultJPNJPN.rte)

1-2. データの取り込み

敷地データ（敷地求積図 DXF 等）を読み込みましょう

① **「設計 GL」** が選択されていることを確認します。



② 《リボン》 **「挿入」** から **「CAD を読み込む」** を選択します。



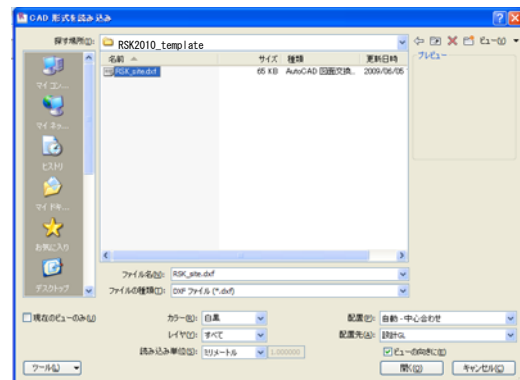
③ 《ファイルの種類》 **「DXF ファイル(.dxf)」** を選択します。

「RSK_site.dxf」 を選択します。

《カラー》 **「白黒」** を選択します。

《読み込み単位》 **「ミリメートル」** を選択します。

「開く」 をクリックすると、敷地図が読み込まれます。



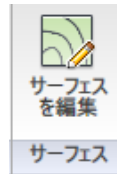
TIPS & HINTS

- ★ 読み込めるファイルの形式は、DXF、DWG、スケッチアップファイルなどがあります。
- ★ 読み込み時に、**「現在のビューのみ」** にチェックをいれると、他のビューに無駄な読み込みをする必要がありません。
- ★ 読み込み時、レイヤを選択して読み込むことも可能です。

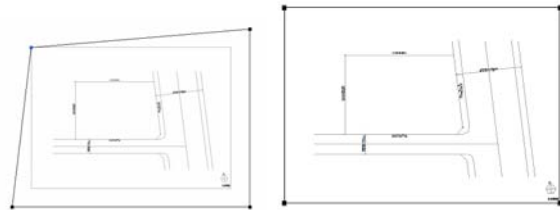
1-3. 地形の調整

ビューの基準となる範囲として地形面を調整します。
読み込んだCADデータに合わせて、地形面を小さくしましょう。

- ① 既存の地形を選択します。
《リボン》[サーフェスを編集] を選択します。



- ② 地形面の端点を選択し、読み込んだCADデータの大きさに合わせて、ドラッグします。
同様に他の3点も移動します。



- ③ 《リボン》[サーフェスを終了] を選択します。



TIPS & HINTS

1-4. 敷地境界線の作成

取り込んだ敷地図を下絵として敷地境界線を入力します。

また、敷地境界線の内側に別途マテリアルを設定できるように、サブ領域を設定します。

① 《リボン》[マス&外構] から [敷地境界線] を選択します。

[スケッチで作成] を選択します。

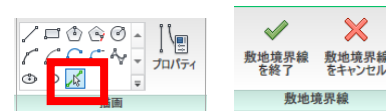


② 《リボン》[選択] をクリックします。

下絵の敷地境界線を選択します。

《リボン》[敷地境界線を終了] を選択します。

敷地境界線が作成されました。



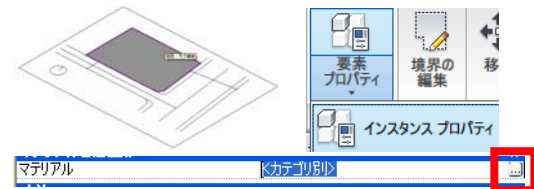
③敷地境界線と同じ大きさのサブ領域を作成します。《リボン》[マス&外構] から [サブ領域] を選択します。

《リボン》[選択] をクリックします。

敷地境界線を選択します。

《リボン》[サブ領域を終了] を選択します。

《クイックアクセスツールバー》[3D ビュー] を選択し、サブ領域を確認しましょう。



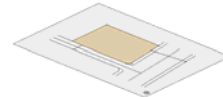
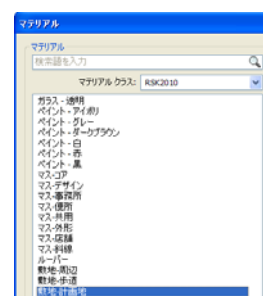
⑤サブ領域を選択します。

《リボン》[要素プロパティ] から [インスタンスプロパティ] 選択します。

《マテリアル》カテゴリ別をクリックし、[...] ボタンをクリックします。

[敷地-計画地] を選択し、[OK]をクリックします。選択解除します。

サブ領域のマテリアルが変更されました。



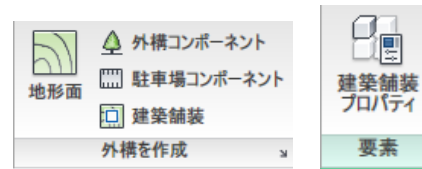
TIPS & HINTS

- ★敷地境界線やサブ領域を選択する時に、[Tab キー]を使うと一括選択できます。
- ★Tab キーで目的の図形がうまく選択できないときには、目的の図形にあわせて、何度か Tab キーを押すと選択できます。
- ★図形の選択解除は、画面背景部分をクリックします。

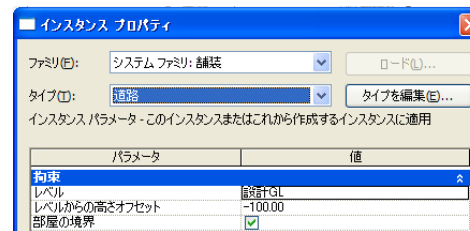
1-5. 道路の作成

外観パースを効果的に見せるため、事前に道路・歩道などを作成します。

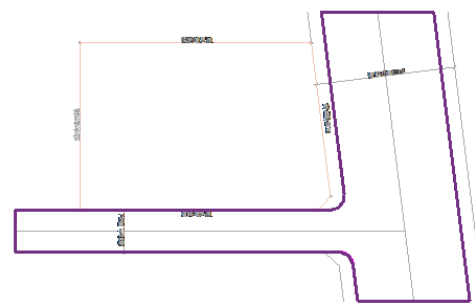
- ① 道路部分を作成します。設計GLから100mm 下げて作成します。
 《設計GL》に切り替えます。
 《リボン》[建築舗装] を選択します。
 《リボン》[建築舗装プロパティ] を選択します。



- ② 《タイプ》[道路] を選択します。
 《レベルからの高さオフセット》[-100] と入力し、[OK] をクリックします。



- ③ 《リボン》[選択] をクリックします。
 下絵の道路部分（右図参照）を選択します。
 《リボン》[線分] をクリックします。
 道路の端を線で閉じます。
 《リボン》[建築舗装を終了] を選択します。



- ④ 3D ビューに切り替え、道路（舗装）を確認しましょう。



TIPS & HINTS

- ★ 3D ビューへの切り替えは、2つの方法があります。
 - ・ 《クイックアクセスツールバー》[3D ビュー] をクリック
 - ・ 《プロジェクトブラウザ》[3D ビュー]の[3D]をダブルクリック
- ★ 道路の高さを 100mm 下げているのは、任意の数値です。

⑤歩道を 3 箇所作成します。

《設計 GL》に切り替えます。

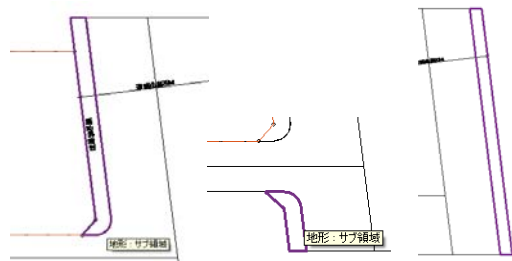
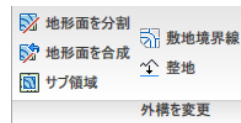
《リボン》[マス&外構] から [サブ領域] を選択します。

《リボン》[選択] をクリックし、歩道の下書き線を一括選択します。

《リボン》[線分] をクリックし、歩道の端を閉じます。

《リボン》[サブ領域を終了] を選択します。同様に 2 箇所サブ領域を作成します。

3D ビューに切り替え、歩道 (サブ領域) を確認しましょう。



⑥歩道にマテリアルを設定します。

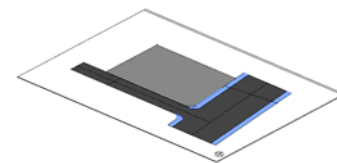
3 箇所のサブ領域を選択します。

《リボン》[要素プロパティ] から [インスタンスプロパティ] 選択します。

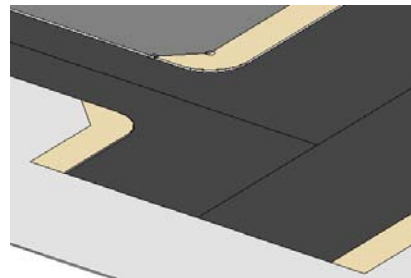
《マテリアル》[...] ボタンを選択します。

[敷地-歩道] を選択し、[OK] をクリックします。

《マテリアル》に [敷地-歩道] が設定されます。[OK] をクリックします。



⑦道路の高さ、歩道のマテリアルを確認しましょう



TIPS & HINTS

- ★ サブ領域は 1 領域ずつ作成し、終了します。
- ★ 複数箇所を選択する場合は [Ctrl] キーを使います。
- ★ 歩道を [建築舗装] コマンドで作成した場合、領域が重なってエラーが出る場合があります。

1-6. レベルと階高の設定

レベルを追加し、階高を設定します。同時に平面図ビューの追加をします。

- ① レベルを追加するために、RFL とパラペット天端を移動します。

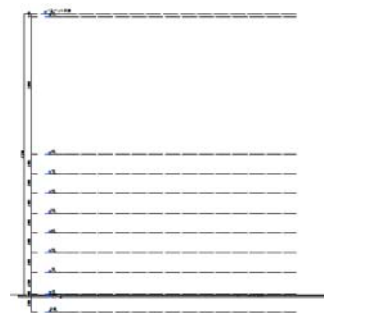
[立面図南] に切り替えます。

RFL とパラペット天端を窓選択します。



- ② 《リボン》[移動] を選択します。

基点と目的点をクリックし、右図のように上の方に移動しておきます。



- ③ 《リボン》[ホーム] から [レベル] を選択します。

《リボン》[選択] をクリックします。

《オプションバー》《オフセット》に [4000] と入力します。

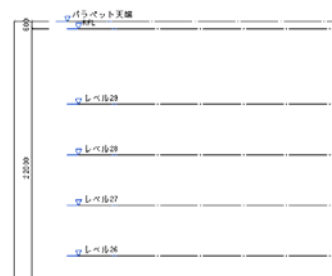


- ④ 8FL をポイントし、4000 間隔で青い破線が表示されたら、クリックします。

レベル 26 が追加されます。

同様に、レベル 27 からレベル 29 を作成します。

《リボン》[修正] を選択します。

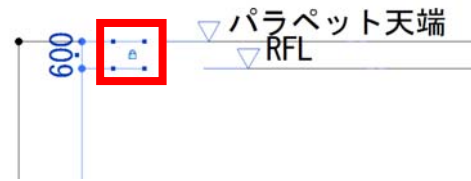


TIPS & HINTS

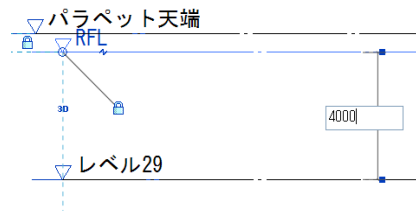
- ★ レベル作成方法には 2 種類の方法があります。
 - ・ [線分]・・・2 点間の作図
 - ・ [選択]・・・オフセットで入力した距離でコピー
 等間隔が続く場合は、[選択] が便利です。
- ★ コマンドを終了したいときは、いくつかの方法があります。代表的なものは
 - ・ 《リボン》[修正]・・・リボンに表示された時の使用可能です。
 - ・ E S C キー・・・キャンセルを意味します。コマンド終了にも使用できます。

⑤RFL とパラペット天端の階高は 600 のままにしておきたいので、寸法にロックをかけます。

600 の寸法を選択し、ロックします。



⑥レベル 29 と RFL の階高を 4000 に設定します。



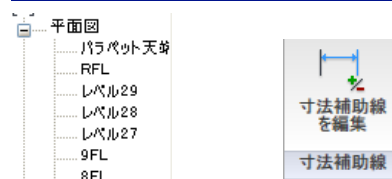
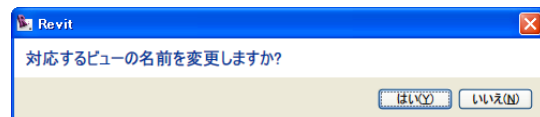
⑦追加したレベルのビューの名前を変更します。

レベル 26 (レベルの名称) をクリックし、**[9FL]** に変更します。



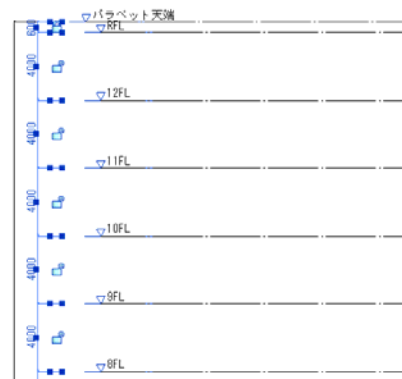
⑧対応するビューの名前も変更するので、**[はい]** をクリックします。

《プロジェクトブラウザ》で、平面図の名称を確認すると、9FL に変更されています。同様にレベル 27 は **[10FL]**、レベル 28 は **[11FL]**、レベル 29 は **[12FL]** に変更します。



⑨追加したレベルに寸法線を入力します。編集する寸法を選択します。

《リボン》**[寸法補助線を編集]** を選択します。



⑩追加したレベル (9FL~12FL まで) を順にクリックすると、寸法線が追加されていきます。選択解除します。

TIPS & HINTS

★距離や寸法を変更する場合は、動かしたい図形を選択して、仮寸法の数値を入力します。